



No. 135

発行所 泉町連合区
発行責任者 連合区会長 西川 正義
事務局 (泉公民館内)
土岐市泉中郷町 TEL 55-3653
編集部長 林 幸七

久尻区
御前 辰子



令和二年度泉町連合区より市への要望書が提出される

令和二年度 泉町連合区会 要望書

Table with 4 columns: 番号, 要望事項, 新規・継続の別, 要望の詳細. Contains 5 items (R2-1 to R2-5) regarding public facilities, road construction, disaster relief, and fire safety.

令和二年度の要望事項について取りまとめました。七月の泉町連合区会に報告し承認を得て七月十日に土岐市役所へ提出いたしました。

「安心・安全な街づくり」「住み良い街づくり」を目標に、要望はR2-1～R2-5の五項目と成りました。R2-1、R2-2は施設の建設促進・修繕の二項目、R2-3は道路の建設

の二項目、R2-4、R2-5はその他の二項目です。【五項目の内容】R2-1【継続】泉公民館は建設より三十九年が経過して残り耐用年数が十一年となり、具体的な建設促進をしなくてはなりません。R2-2【継続】泉児童館の修繕・環境改善で二種類のとして①遊戯室の床の修

令和二年度泉町連合区から土岐市への要望事項
泉町連合区会会長 西川 正義

R2-3【継続】道路の建設。要望箇所として国道十九号線池ノ上交差点から県道土岐可児線五斗峙までの区間が該当します。昨年度ご検討頂けるとの回答を戴きましたので早急に実現して頂くよう強く願っています。

R2-4【新規】防災ラジオの支給に關して、要援護者(高齢独居者等)から広報・防災無線が聞こえないというお話がありました。特に豪雨等災害時には支援を受けられる態勢を事前に

交通安全協会の活動
泉町には、日頃から交通安全協会の事業に格別のご理解と協力を賜り厚く御礼申し上げます。まず、交通安全協会の組織と活動を紹介させていただきます。東濃地区交通安全協会は、多治見市、土岐市、瑞浪市の三市からなる組織で、本部は多治見警察署内に事務局を設けております。そして、各市に支部が設けられておりますが、土岐市支部は、さらに土岐津、泉、泉西、肥田などに分け構成されております。



ゴーヤの花と小さい実(右下)

この場をお借りしまして、最近の情勢を述べさせて頂きます。新型コロナウイルスも第二波を感じさせるようになっていっています。その影響もあり、令和二年度泉町民運動会は泉町民運動会実行委員会においてやむなく中止の決定を致しましたが、皆様には回覧にてご理解を頂いたと思っております。又、他の様々なイベントも中止や延期になっていきます。このような状況を打ち破るべく、連合区役員の皆さんと共に一緒に色々な策を講じる事が出来ればと思っております。最後に、今後も泉町連合区の活動にご理解とご支援とをよろしくお願い申し上げます。

準備していただくことが肝要であると考え、スマホ等が扱えない要援護者への防災無線受信機の配布の検討をお願いすることとしました。R2-5【継続】セラトピア土岐前の防災倉庫前に災害発生時に使用される倉庫用品のスムーズな搬出を可能とするための空き地確保用としてカラーペイントで明示することを要望します。

以上で、ご紹介させていただきます。今年度については、東濃地区交通安全協会より一年間の活動案が次のように出されております。
(一)春の全国交通安全運動
(二)夏の交通安全県民運動
(三)秋の全国交通安全運動
9月21日～30日
12月11日～20日
(四)年末の交通安全県民運動
このような活動を予定しながら、普段は、朝早くから月二回各町内会役員の皆様の協力のもと各町街頭の巡視・指導をしております。又女性有志で、高齢者宅への「まめかな訪問、交通安全・事故防止、反射タスキや振り込め詐欺等の説明な



最後に、私が活動をしていく中で、感じた事を紹介させていただきます。

ういつた時に事故を防ぐためには、自分の技術や能力が衰えていないかを今一度振り返る事が大事であり、それが事故防止に繋がるのではと思いません。知らない道路を運転する高齢者は、大きな事故を起こしやすいのではと感じております。普段は近所の馴染みのある道路を運転しているため、自分の技術や能力の衰えに気づいておらず、知らない道での運転で急な出



土岐市議会議員 泉市議員 小栗 恒雄

新型コロナウイルス感染拡大により、皆様の暮らしに大きく影響を及ぼしてまいります。泉町民の皆様はお変わりなくお過ごしでしょうか。

さて、今回は、コロナ禍のもと「新しい生活様式」における身近な町内会について考察してみたいと存じます。

町内会組織は、一定地域内に住む人々が自主的に活動する任意団体であり、特に困った時にはまず助けになるのが近所の人々であります。その点で町内会は、私たちに最も身近な社会に根付いた日本独自の組織といえます。

町内会の本来の目的は、その地域に住む人々が、快適に住みやすい町をつくるため、親睦や連帯を深める活動で、春・夏・秋・正月のお祭り行事。また、町民運動会や町民野球大会、氏神様の奉仕作業、集会場の清掃などが挙げられます。しかし、ただ今申し上げました町

来事に対応出来ず、大きな事故を起こしやすいのではないかと思っております。私たちの地域では、車がないと生活がしにくい現状があります。交通手段の多様化や設備の拡充などを図ることにより高齢者ドライバーの免許返納が進み、高齢者の事故も減るのではないかと思っています。

内会活動のほかに、行政の仕事も町内会が担う面もあります。土岐市では「広報」のとき、各種市政のお知らせや回覧物の配布、ごみステーションの設置や管理、防犯灯の設置や管理、道路・水路などの清掃や草刈り、高齢者の見守り、民生委員等の公的役職者の選任や推薦など、市政の手が回らない住民サービス等を町内会が担っていることが少なくありません。そして町内会が担う仕事は、年々増える傾向にあり、膨らみ続ける町内会の業務に、住民の一部から悲鳴が上がっています。

祠とインスタ？

加藤 静里香



同じ職場で泉町民のKさんは、祠巡りが趣味です。祠を見かけたら写真に収め、一部をインスタグラム(※注)に投稿しているとのこと。古い祠と新しいインスタグラム。面白い組み合わせだと思いい、取材しました。

始めたきっかけは、健康のためだったそうです。「腰痛改善やダイエットのために始めた昼休みのウォーキングが捗らなくなった頃、祠が結構点在していることに気が付き、探し始め

これまで巡った範囲は、自宅や職場からの徒歩圏である泉町や土岐津町などが中心。祠のほかにも石仏や石碑、道標等の昔から道端に鎮座しているものを対象として、インスタ投稿は約三十箇所へのぼり。

今後については、「市内の祠を巡って、風景と一緒に写真に収めていきたいです。何十年か後に、撮った写真と見比べて、『昔こはこうだったんだな』と時間の流れを感じられたら良いですね。また、出来れば祠の由来や地元の方々



Kさんのインスタ投稿画面

との関わりも調べたいです。祠がそこにあり続けるためには、その地の風習を守っていき、その地の方々の尽力が必要だと思います。今は時間の制約上難しいですが、いつかそういう話を伺えたら」と語ります。

Kさんのお話を伺って、私もお話がよくなりました。祠がよくなりました。祠とひと口に言っても、種類は様々です。皆さんも祠を見かけたら、歴史のこと、地域のこと



新土岐川橋そばの祠(Kさん提供)

いるな動きが模索されていきます。町内会は何をどこまで担うのか、これまで担ってきた活動を根本から見直し、行政と協議のうえ、町内会の本来の目的である、快適に住みやすい町づくりに特化した、誰もが役員を引き受けやすい、必要最低限な活動だけに絞ら込む、町内会の業務を徹底的にスリム化を図る動きです。

土岐市内におきましても、町内会の加入率が7割を切る現状を踏まえ、町内会の存続に危機感を覚えています。現在のあり方について検討しております。その一つとして、これまで「広報」のとき、配布を毎月二回から毎月一回にしたことは、町内会の業務の軽減に繋がると考え、試み、減らしてみたいと考えております。



これは一つの前進といえます。しかし、これだけではまだ根本的な解決には至っておりません。全国各地の自治体では「地域担当職員制度」が広がっており、地域担当職員とは、例えば、市職員を本来の仕事とは別に、その地域出身等の市職員を町内会などに配置し、町内会の仕事を一部担うとともに、市政につなぐパイプ役となることにあります。これにより町内会役員の業務の軽減を図ることができ、上記は町内会の加入率向上につながることにあります。

私には、地域担当職員制度は、コロナ禍の「新しい生活様式」における有効な手法と考え、議会の場で市当局に提言して参りたいと考えております。

減っているそうです。地域への関心や愛着として何か習慣にしていることがある方は、SNSで発信してみると、思いがけない事柄に興味が持てるかもしれません。

泉の昔話

そこで、天皇は、ヤサカイリヒコノミコに、弟姫を、ぜひ、おまかせにもらいたい、と、たのみました。ミコは、そのりやそうや、自分の娘になって、都に住むことはいへんしあわせやからな。そこで、さっそく、弟姫にこのことを話したわけや。

ところで、弟姫は、この話を聞いて、はじめは、顔をパツとお日様のように、かがやかせて喜んだが、すぐ、だまりこんでしまった。そうして、何を思ったのか、

「おとう様、どうか天皇様に会わせて下さい。天皇様にお話しして、そ



三輪公がなくなられた時、大きな古墳が、今の泉小学校の運動場あたりにつ

たが、弟姫が、あんまり一生けんめいに頼むもので、ついに承知された。数日して、兄姫は、天皇の行列と共に都へと出発された。後に、皇后になられた。弟姫は、どうなったかちゅうと、後に、土岐県(あがた) 主三輪公というえらい人とつこうなされた。弟姫は、おねえさんしあわせを願ったや、弟姫様のことを思い出しなごらう。

物語提供 土岐青年会議所 挿絵 パレット会 加藤 美津子

◆この物語に登場するエヒメとオトヒメは、日本最古の歴史書である「古事記」にもその名が見えます。景行天皇との関係をめぐる話の筋はかなりの違いがありますが、この姉妹が古代の美濃の地に実在し、天皇に求婚されたことは確かです。【編集部】

特財制度のしくみ

泉の自治だより編集委員 御前 昭

一、特財制度の背景

特財制度の生い立ちを見ると、昭和三十年二月一日に旧町村の泉町、土岐津町、肥田村、下石町、妻木町、駄知町、鶴里村、曾木村の八ヶ町村が合併して土岐市に成るに当たって、各町村の財産や諸権利を合併後の市にどのよう

二、特財制度の運用

「覚書」の条文に「財産中林野より生ずる収益（立木及び土石）は、その生じた旧町村内の公共事業費に充当するものとす」という規定があります。

この「覚書」は六項目からなる土岐市の憲法といわれるものです。各町村が昔から受け継いできた財産（町村有林や入会権等）は地域住民の公的資産であり、これらを新市が引き継ぐもの、新たに財産区は設置しないで合併以前の各町村の財産や権利の保全について

取決めをしたのです。特に、合併後に於いて旧町村の財産や権利から収益が生じた場合、「収益はその生じた旧町村内の公共事業費に充当する」事で各町村間の公平性を保つためであったものと推察します。

こうした地域住民の公的資産は、他市では財産区や森林組合、会社法人が設立され、市の財政に組み入れる事なく、全ての収益を当該地域で独占

業団、雇用促進事業団、東濃フロンティア高校、県立養護学校、中央自動車道などの建設で、多額の土地処分収益があり、ルー儿に分配されてきました。

そして、この特財制度については、平成十五年に三市一町の合併協議会において、合併後の新市に承継するかどうかについて激論が交わされましたが、土岐市の主張が認められ、承継が認められたという経緯もあります。

又、市の財政状況が厳しい時代には、他町に先駆けて公共事業の整備を市に依頼する場合にも使われてきました。

昭和四十年代に入り高度経済成長に伴い土地の需要が高まり、林野から生ずる立木や土石よりも土地の処分による収益が大きくなり、当時は多額の「基金」が積立てられ、「特財」も多額となり、それが多くの地元公共事業の整備に活用されてきました。

今日では、市の財政規模も大きくなり、多くの公共施設の建設費は、国や県の補助金のほか市債や市の一般財源で賄えるようになり、「特財」に対する地元の関心も薄れてきた感があります。

泉町ではこれまで泉北団地や商業団地、動燃事業団、雇用促進事業団、東濃フロンティア高校、県立養護学校、中央自動車道などの建設で、多額の土地処分収益があり、ルー儿に分配されてきました。

最後に、八ヶ町村で締結された「財産処分に関する覚書」は、泉・泉西公民館にて閲覧出来る様にしておきます。

① 公民館建設事業

公民館の基準面積は八百平米であります。下石、肥田、泉西、駄知、土岐津及び妻木公民館は、八百平米を超え千二百平米以内で建設されています。基準面積を超える建築面積に坪単価を掛けた額を地元負担分として特財から充当されています。

② 美濃焼ランド跡地

西部地域センター付近の狭路道路の拡幅用地

③ 泉小学校建設事業

在籍する児童数を超えて建築した普通教室（全学年とも四クラス分の設置）

④ 横断歩道橋

放課後教室

⑤ 他校にない設備施設

普通教室の空調設備・災害時浄水器・作陶窯・太陽光及び風力発電装置・陶壁など

これからの泉町の発展に公共施設の整備促進は必要不可欠であり、その

お寺の門番？山門の秘密

泉の自治だより編集部長 林 幸七



あんなところに猫犬？と疑問に思ったのが始まりでした。私の毎朝の散歩の途中にある極善寺。以前から山門の屋根の軒先にある「猫犬」には気がついていましたが、深く考えることなく過ぎてきました。ところが、昨年の初夏頃から何やら山門工事が始まり、たまたま出会った御住職に聞く



発見された「棟札」を掲げられる釈知道御住職。後方に見えるのが極善寺山門

と、いよいよ山門の瓦が傷んできたので、今の内に葺き替えることに。とのこと。

その御返事。仏法を様々な魔から守るという意味合いがあるのだろうとのことでした。そして、「実は今回の工事で、山門が建立された時の棟札が出てきましたから、お暇な時にご覧に入れましょう」

その御返事。仏法を様々な魔から守るという意味合いがあるのだろうとのことでした。そして、「実は今回の工事で、山門が建立された時の棟札が出てきましたから、お暇な時にご覧に入れましょう」

と、いよいよ山門の瓦が傷んできたので、今の内に葺き替えることに。とのこと。

今見ても太くて立派な銀杏だ、当時はもっと太くて立派だったらしいよ」と御住職。私もその銀杏の木自体は子供の頃から知っていました。ただ「ぶつ」とい木だ、と思っただけでした。ところが、その銀杏が身を削って貴重な文化財を守ってくれたと聞くと、何やら畏敬の念が湧いてきます。

そしてもう一つ気になっていた軒瓦の紋様。どうも巴に似ているので、こちらも調べると確かに「三つ巴」でした。山門のものは「尾長三つ巴」と呼ばれますが、この紋様は「魔除け」「火災除け」の意味があるとされています。御住職の言われた通り、雷神の持つ太鼓にもこの紋様が付いています。「雷神が火災除け？」と疑問符は付きませんが、古の人々の寺院守護への思いが、こうした瓦の紋様にも現れているのだと思うと、お寺を見る目も変わってくる気がします。



尾長三つ巴



唐獅子の図

前編

我が街 定林寺を見つめ直す

取材願主記 安藤 新平



はじめに 「エッ、そんなこと聞

何か記事を書いてください

流行により、自宅待機が

二、定林寺の特色とは？

とにかく原稿は書かな

九万九千日の夏祭りや



郷倉橋定徳坊像

寺川に架かる四つの橋(上

流から瑞雲橋・寺屋敷橋

定林寺橋・郷倉橋)と

炭焼川に架かる橋(炭焼

橋)の五カ所に焼き物の

飾りがありました。炭焼

橋は平成十七年に、定林

寺川の瑞雲橋は平成十四

年、寺屋敷橋は不明、定

して、記事を見ると地名

橋は平成十七年に、定林

寺川の瑞雲橋は平成十四

年、寺屋敷橋は不明、定

林寺橋は平成八年、郷倉

橋は平成十一年に作られ

た表示があり、それぞれ

が異なっただけに飾りが取

り付けられたことが分か

りました。

定林寺橋の南蛮人の燭

平素は、消防団活動に

多大なご理解協力を感じ

り、誠にありがとうございます。

この程、令和二年

四月一日より二年間、

泉消防団分団長という大

任を承りまして、角山製

陶所伊藤 真(57才)です。

昨年令和元年、泉陶磁

器工業協同組合の建物火

災に始まり、本年度は新

早く現場に駆けつけ、在

住者としての利点を生か

し、消防署と協力しながら

地域防災に貢献するも

のです。

近年は団員の職業も会

社員が主流となり、いつ

起きるかわからない災

害に対して全団員が即座

に対応出来るとは限りま

せんが、地元の消防団員

ことではありません。消防

署とのパイプ役・若い団

員のまとめ役といった役

割を担えます。

地元を離れて社会人に

なる人が増えた為、今ま

でのような新入団員勧誘

(同年会での勧誘など)

では入らないのが現状に

なっています。

前年度大野分団長より

五名程度選出していただ

ける体制が取れると本来

の活動に専念することが

出来ると思います。

多くの方に消防団に携

わっていただくことで災

害に強い地域づくりがで

きると思います。もうそ

ろそろ人任せでなく泉町

全体で集まり、考え、行

動する時期ではないでし

最後になりますが、消

防団員にとっては皆様か

らの叱咤激励が何よりの

励みとなります。今後二

年間、地域の皆様の変わ

らぬご支援を賜りますよ

う、団員共々何卒よろし

くお願い申し上げます。

※本年度の各種行事につきま

しては、新型コロナ対応にて変更の可能性

がありますので、実施については各主催者にご確認下さい。

※令和3年1月~3月のイベントにつきましては、予定未定の行事が多いため、12月号(No.136)でお知らせ致します。

泉消防団分団長に就任

泉消防団分団長 伊藤 真



泉町民の広場

花一杯の庭



咲き誇る花に水やりをする八千代さん

河合区の中心部に近い中野町にある安藤敏隆さん宅には、早春のサクラソウから晩秋の菊やピロウまで、花の絶えることのない素敵な庭があり、南の道路に面していることもあり、近所の人達も日々癒されているようです。お話を伺ったのは6月上旬の梅雨入りの日で、丁度立派な百合の花が咲き始めていました。 御主人の定年後花を育て始め、もう20年以上続いているそうです。御主人はサクラソウやクレマチス、菊などが好きで、当時からずっと育てているそうです。手入れのコツを尋ねると、「特には無いけれど、まあ、毎日の水やりと肥料をきちんとやることくらいかなあ。」とのこと。サクラソウや、勿忘草などは放っておいても「こぼれ種」で次の年には勝手に生えてくるそうです。ただ、サクラソウは水が好きで夏の暑さには弱いので、その点には注意がいるようです。 花育てで特に困っていることは、菊につく虫だとのこと。カミキリムシに似た小さな虫がいて、せっかく育った茎を噛み切って倒してしまつてます。殺虫剤を使っても飛んで逃げてしまい、「かんかなーよ」と奥さんの八千代さん。でも、菊自体はそれにも負けず脇芽を伸ばして花を咲かせるそうです。 お話の後、奥さんはせっせとベチユニアの花殻取りを始められました。おや、御主人の姿が見えませんが……。ちなみに、奥さんのお気に入りにはシャコバソボテンとのこと。玄関に鉢がずらりと並んでいます。秋が楽しみですわね。

ちょっとお知らせ!

★会員募集中★

《久尻の里山を愛する会》

「やすらぎの森」の自然環境の整備と散策

詳しくは、泉西公民館にある資料参照。入会申込書も用意してあります。

連絡先 泉西公民館 53-0288

令和2年度泉町のイベントカレンダー (10月~11月)

Table with 4 columns: イベント, 主催, 開催日, 会場. Lists various community events for October and November.